



ACAP シンポジウム 2009

安全・安心 を使用者視点で考える

～企業と消費者でつくる安全な暮らしをめざして～

製品事故を未然に防ぎ、安全・安心な暮らしを実現するには、どうすればよいのでしょうか？

企業は、消費者・使用者視点にたった商品開発、わかりやすい表示や販売方法の工夫に注力することが望まれます。一方、消費者も危険を察知する感度を高め、安全な取扱方法を身に付けたり、誤った使い方を避ける必要があります。

ACAP(消費者関連専門家会議)のシンクタンクであるACAP研究所では、誤使用や不注意な使い方による事故を防ぐため、どのような注意喚起や対策が必要かプロジェクトを立ち上げ、検討してきました。

シンポジウムでは、その研究成果を紹介するとともに、安全で安心な暮らしを実現するために、企業そして消費者がそれぞれの立場でできることを考えていきます。

日時 2009年6月2日(火) 13:30～17:00

[開場は13:00 会場受付ロビーで消費者啓発展を行います]

会場 丸の内 MY PLAZA 4F「MY PLAZAホール」

東京都千代田区丸の内2-1-1 明治安田生命ビル

●参加ご希望の方へ 事前申し込みが必要です(参加費無料)

ACAPホームページ(<http://www.acap.or.jp>)からお申し込みができます

■ プログラム

13:00 開場・受付開始

13:30 基調講演 「失敗は予測できる ～いかに失敗を予防するか」(仮題)
東京大学大学院工学系研究科教授 中尾 政之 氏

14:30 ACAP 研究所報告 「誤使用防止のための企業の考え方と使用者への要望」
ACAP研究所長 柴田 純男

15:00 休憩

15:15 パネルディスカッション 「くらしの安全と安心」

[パネリスト]

東京大学大学院工学系研究科教授

中尾 政之 氏

独立行政法人 製品評価技術基盤機構

製品安全センター製品安全企画課長

長田 敏 氏

主婦連合会事務局長

佐野 真理子 氏

株式会社イトーヨーカ堂QC室総括マネージャー

山田 祥男 氏

社団法人消費者関連専門家会議理事長

滝田 章

[コーディネーター]

ACAP研究所 誤使用防止プロジェクト研究員

福田 隆

(株式会社損保ジャパン・リスクマネジメント)

17:00 閉会

主催 社団法人消費者関連専門家会議 (ACAP)

